令和６年１０月４日

報道発表

市民部　博物館　運営グループ
℡053-456-2208

浜松市

浜松市博物館初！夜通しイベント「旧高山家住宅眠れ night 」開催

かつて全国で徹夜する風習があった庚申（こうしん）の日にちなみ、江戸時代の民家において一夜を過ごす講座を１０月２３日から２４日にかけて開催します。名付けて「旧高山家住宅眠れ night」、浜松市博物館初の試みです。当日は当館学芸員と外部講師が連携し、地域の歴史文化の講座や星空観察、お茶にまつわる講座を深夜から早朝まで開催し、かつての風習を追体験します。

記

１　旧高山家住宅眠れ night の概要

日時　令和６年１０月２３日（水）午後９時～１０月２４日（木）午前６時
※１０月２３日は干支の庚申（こうしん、かのえさる）にあたる日。

場所　蜆塚公園内　旧高山家住宅（中央区蜆塚４丁目）

内容　・庚申待及び地域の歴史文化の紹介など（講師：浜松市博物館学芸員）
・星空観察（講師：浜松市博物館アドバイザー　冨田和俊）
・お茶講座（講師：宇布乃園　お茶子こと松本陽子）
※庚申待は６０日に一度めぐってくる「庚申」の日に徹夜をする行事。

定員　１０名（要事前申込、応募多数の場合は抽選）

費用　無料

対象　１８歳以上

２　旧高山家住宅について

・旧高山家住宅は、１９世紀半ばに建てられた漁業・農業を営んでいた家の住宅。1980 年に村櫛から移築された。
・浜名湖東岸地域における最も標準的な農民の住宅。現存する市内の古民家の中では比較的小規模。
・毎月第２土曜日に「かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし」を開催（市民団体との共催事業）。

旧高山家住宅